

児童生徒が安全・安心に1人1台端末を利用するために、**使用ルールなどを指導するだけでなく、保護者や地域の方々など関係者にも理解と協力を得ながら、児童生徒が安全・安心に端末を利用できる環境を整えることが重要**です。(GIGAスクール構想の下で整備された学校における1人1台端末等のICT環境の活用に関する方針について(令和4年3月3日 初等中等教育局長通知))
 端末を活用した学習活動の土台として、通知の内容を学校と保護者とが共通理解を図るだけでなく、児童生徒自身もテラシーとして習得することが望めます。

「StuDX Style」は、「すぐにも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の活用事例を多数掲載している特設ウェブサイトです！

そこで、先の通知とStuDX Style掲載事例との関係を整理しましたので、各校の取組の状況にあわせてご活用ください。これから本格的に取り組まれる場合は、「1. 児童生徒が端末を安全・安心に活用するために気を付けること」から実践してみましょう！

✓ **StuDX Styleの事例をもとに、校内研修等で指導の進捗を確認し、保護者等と共通理解を図りましょう！** ※ 1-③ 等は、StuDX Style内の事例分類番号です。

1. 児童生徒が端末を安全・安心に活用するために気を付けること

2. 端末・インターネットの特性と個人情報の扱い方

- (例)
- 使用時間を守る
 - 端末・アカウント・パスワードを適切に取り扱うこと
 - 端末を使うときは、落としたり、ぬらしたりしないように注意する

1-③

端末利用のルール決めと意識化

1-④

はじめてのパスワード指導

1-18

オンラインコミュニティへの投稿

1-22

他人の情報の扱い方を考えよう

- (例)
- 児童生徒が自分や他人の個人情報を、誰もがアクセスできるインターネット上に不用意に書き込まない
 - 他人を傷つけたり、嫌な思いをさせることを、ネット上に書き込まない

1-①

学習環境づくり

1-20

家庭でのICT端末の使い方を考えよう

1-16

話し言葉と書き言葉の指導

1-21

自分の情報は自分で守る

1-23

コミュニケーションツール(チャット等)の設定と工夫と指導

- (例)
- 端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を30cm以上離す
 - 就寝1時間前からICT機器の利用を控える



【参考】児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック(令和4年3月改訂版)

1-⑧

家庭と連携した児童生徒の健康への配慮

トラブル(故障・破損・紛失・盗難・ネット上)等の未然防止のために、1～3の指導が重要です。

これらの学習活動の様子をお便り等で保護者等へ日常的に発信することや、保護者説明会等の機会を捉え直接伝えること等を行い、その際、トラブルが起きた場合の連絡や問合せ方法等もあわせて周知しておくことで、保護者等との共通理解を図ります。

3. 健康面への配慮

4. トラブルが起きた場合の連絡や問合せ方法等の情報共有の仕組み

※(例)は(別添3)学校設置者・学校・保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント(GIGAスクール構想の下で整備された学校における1人1台端末等のICT環境の活用に関する方針について(令和4年3月3日 初等中等教育局長通知))より抜粋